

心の ともしび



暗いと不平を言うよりも
すすんであかりをつけましょう

この世に生を受けた喜びを

心のともしび運動

代表役員

阿南孝也あなみ たかや



二〇一九年に内閣府が発表した、若者の意識調査結果にショックを受けました。日本の若者は諸外国の若者と比べて自分自身に満足している人、将来に明るい希望を持っている人、宗教が心の支えや行動のよりどころとなっているとと思う人の割合が低いという結果でした。

父親であり、また長くカトリック学校の教師であった私は、大きなショックを受けました。神は愛ゆえにご自身に似せて人を創造されました。子どもたちに、無条件に愛されている存在であることを伝えることは、親や教師、大人が神から託された大切な使命だからです。

子どもたちの身の回りには、手軽な楽しみが溢れています。しかし、心揺さぶられる真の喜びに出会うことが難しいのが、私たちの社会の現状なのかもしれません。教皇フランシスコは、「もし私たちが聖書を携帯電話と同じくらい常に持ち歩き、メールを読むのと同じくらい神様からのメッ

セージを読んだとすれば、いったい何が起ころうでしょう」(二〇一七年三月五日・「お告げの祈り」での言葉)と問題を投げかけられました。さらに「あなたは神にとつて大切な人です。あなたが神を探さなくても、神さまがあなたを探しておられるのです」(二〇二二年九月十一日・同)と述べて、神に立ち帰るよう諭されました。

子どもたちが心と体が安らぐ居場所を確保し、この世に生を受けた喜びを実感できることが、幸せな人生に繋がるのだと思います。たとえ思い通りにならないことが起こったとしても、それを受け止めて、苦しみの中に大切な意義を感じ取ることができるよう導くことが大人の責務です。

子どもは親の背中を見て育つと言われます。まず私たち大人がそれぞれの置かれた場所で、感謝と喜びのうちに生きるよう心掛けることが、何より大切なことだと思っています。

ホームページ (<https://www.tomoshihi.or.jp>)



【編集部より】 この春、心のともしび運動の代表役員に阿南孝也氏が就任いたしました。阿南氏はカトリック河原町教会信徒であり、長年、京都の洛星中学高等学校で教鞭をとり、校長職を務めました。心のともしび運動にはテレビ出演者・ラジオ放送原稿の執筆者として参加、数年前からは役員としても関わってまいりました。

阿南代表のもと、神様の恵みと皆様のご支援を頂きながら、神の御言葉をお届けできますよう、これからも職員一同力を合わせて励んでまいります。どうぞ変わらぬご支援をお願い申し上げます。私たちは責任役員に就任してくださった一場修神父(マリスト会)と共に、皆様のために毎週ミサをお捧げしてお祈りしています。

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上ル 心のともしび運動YBU本部 (電話:075-211-9341 FAX:075-211-9343)